

会 議 録 (1)

| | |
|--------------------------------|--|
| 会 議 の 名 称 | 平成23年度 第2回入間市文化財保護審議委員会 |
| 開 催 日 時 | 平成23年 9 月 2 9 日 (木) 午後1時20分開会・午後3時30分閉会 |
| 開 催 場 所 | 入間市庁舎B棟5階 第4委員会室 |
| 議 長 氏 名 | ②枝窪 邦茂 |
| 出席委員(者)氏名 | ②枝窪 邦茂 ③東 明 鹿島 英明 田代 甲平 大館 勝治 渡邊 久芳 法隆 康一 大河内 隆敏 柳澤 かほる 林 宏一 |
| 欠席委員(者)氏名 | なし |
| 説明者の職氏名 | 主幹 田代 高久 主査 大久保 卓 |
| 会 議 次 第 (<u>公開</u> ・非公開の別) | 1 開 会 2 挨 拶 文化財保護審議委員会委員長 生涯学習部部長 3 諮 問 入間市新規指定文化財について ・明王寺の俳句額 ・九変化扁額 4 議 題 諮問について 5 その他 6 閉 会 |
| 非 公 開 理 由 | |
| 傍 聴 者 数 | 0人 |

| | |
|--------------------|---|
| 配 付 資 料 | 平成23年度第2回入間市文化財保護審議委員会（資料） |
| 事 務 局 職 員 職 氏 名 | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習部部长 吉澤 均 ・生涯学習部参事兼生涯学習課長 神崎 幸子 ・同課生涯学習文化財担当主幹 田代 高久 ・同主査 大久保 卓 ・同主事補 関矢 朝子 |
| 会議録作成方法 | 筆 記 |

会 議 録 (2)

| 議事の概要 (経過) ・決定事項 | |
|------------------|--|
| 議 題 | 4 議 題 諮問について |
| 決 定 事 項 | 4 議題 諮問について 市教育委員会より新規指定文化財の諮問を受けた「明王寺の俳句額」および「九変化扁額」について、審議委員会委員から意見をもらった。今回の意見をもとに理由書を修正し、上記2件の文化財について次回の審議委員会の場では再度検討することに決定した。 |

会 議 録 (3)

| 発言者 | 発言内容 |
|-----|---|
| 事務局 | <p>4 議 題 (1) 諮問について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明王寺の俳句額 ・九変化扁額 <p>諮問を受けた2件の文化財の理由書(案)を説明いたします。なお、前回の審議委員会で付帯条件のついていた「九変化扁額」については、7月11日に枝窪委員長、東副委員長、田代委員、および事務局の立会いのもと、立命館大学アトリサーチセンターの赤間教授に実物を見てもらいました。その結果、この扁額は鳥居清満のものに間違いがないということが事実になりましたので、「明王寺の俳句額」とともに新規指定文化財として諮問させていただきました。</p> |
| 委員長 | <p>(明王寺の俳句額について)</p> <p>それでは1件ずつ審議にはいきます。まずは明王寺の俳句額をお願いします。</p> |
| 委員 | <p>理由書6行目に「全国に広がる白雄門下の句を配し」とありますが、「全国」という表現は広すぎませんか。また、「合わせて19句」と書いてありますが、兎州の「来よし住よし・・・」というのは俳句ではありませんので、正しくは「18句」ではないですか。なお、「長谷部其山」は本名が「長谷部代治郎」と分かっているので、ここでは「長谷部代治郎」にしたほうがよいでしょう。</p> |
| 事務局 | <p>白雄の門下生の広がりを調べたうえで表現を変えます。また、ご指摘の箇所は訂正します。</p> |
| 委員 | <p>額の場合、員数(単位は)「1枚」ではなく「1面」の方が正しいです。また、さきほどの「全国に広がる白雄門下の句を配し」ですが、全国というよりは関東に多いと思います。門下の一人である戸谷雙鳥は本庄の大富豪で有名な人ですので、本庄市に問い合わせれば資料はあると思います。また、毛呂山町の内野勝裕氏の研究は参考になります。</p> |
| 委員 | <p>16行目の「願主の兎州は・・・」ですが、牛沢は小谷田村に入ることから、後段は必要ないのではないのでしょうか。また、増田氏と確認できないのですか。</p> |
| 事務局 | <p>確認はできていないので推測にとどめてあります。</p> |
| 委員 | <p>18行目の「この俳句額は・・・」の文章ですが、「俳句額により」と文言を変えたほうが分かりやすいのでしょうか。</p> |

会 議 録 (4)

| 発言者 | 発言内容 |
|-----|--|
| 委員 | 意味は通じるのでこのままでよいと思います。 |
| 委員長 | 明確な間違いではなく、文章を書くときの癖なのでこのままでよいと思います。「つながりが分かるとともに」から「つながりを教えるとともに」と受身にした方がわかりやすいのではないのでしょうか。 |
| 事務局 | 「分かるとともに」が分かりづらいのでこの文言を削除して、「つながりや当地における・・・」に変更します。 |
| 委員 | 明王寺の俳句額については調査されているのでしょうか。 |
| 事務局 | 「入間市の俳句額」を発行するにあたり調査をしています。 |
| 委員 | 3面の奉納俳句額のうち1面のみの指定となると、残り2面の俳句額の扱いはどうなるのでしょうか。あえて文章に入れる必要があるのですか。 |
| 委員 | 1つの方法として、残り2面を「付」にするのはどうでしょうか。 |
| 委員 | 「明王寺の俳句額」とすると3面全てが対象となっていると思われてしまいます。3面のうち1面が春秋庵に由来するものだと明確にするために、名称に「寛政8年」という年号をいれたらよいのではないのでしょうか。年号を入れることにより整合性がでると思います。他の2面も指定する価値があるのでしょうか。「付」はあとからでもできるので、今回は指定しなくてもよいのではないですか。 |
| 委員 | 年号もしくは「献春の部」と入れたほうが特定できてよいと思います。「明王寺の寛政8年銘の俳句額」と年号を入れたほうがより分かりやすいのではないのでしょうか。 |
| 事務局 | 年号を入れるということではよろしいのでしょうか。 |
| 委員 | 「献春の部発句」と題した俳句額は入間市内には他にありませんか。 |
| 事務局 | 春をイメージする俳句額はありますが、明王寺の他の2面に関しては、ありません。 |
| 委員長 | 3面あるので、混同しないためにも分かりやすくしたほうがよいでしょう。 |
| 委員 | 「献春の部発句と題された」とあるので、年号よりも「献春の部発句」をいれたほうがよいのではないのでしょうか。 |
| 委員長 | 「献春の部発句」がより特定しやすいと思います。年号は他にもその年で作成されたものもあると思います。 |

会 議 録 (5)

| 発言者 | 発言内容 |
|------|---|
| 一同 | 名称は「明王寺の「献春の部発句」俳句額」でよいと思います。 |
| 事務局 | 3面のうち1面といった件についてはいかがでしょうか。「付」にすることはいつでもできますので、今回は1面のみ指定することにして他の2面に関しては触れず、理由書を変更するというのでいかがでしょうか。 |
| 一 同 | 異議なし |
| 委員 | 所在地・管理者のどちらかに「明王寺」と入れたほうがよいのではないのでしょうか。 |
| 事務局 | 管理者が住職でも神職でもなく個人の方なので個人の名前のみにしています。 |
| 副委員長 | 1行目の「奉納俳句額が保存されており・・・」を「2番目に古い俳句額が奉納され、保存されている」としたほうがよいと思います。また、3行目の「厚さ4センチを測る」は「厚さは4センチであり、裏面には・・・」と続けた方が分かりやすいです。 |
| 委員 | 1行目の文章はつながりが分かりにくいので、「明王寺に現存する俳句額のうち献春の部発句の俳句額は・・・」など、事務局で考えてください。 |
| 事務局 | 文章は事務局で校正します。また、15行目および18行目の「当地」に関しては、「市内」に修正したほうが分かりやすいようなので、「市内」に修正いたします。 |
| 委員長 | ほかに意見はありますか。 |
| 一 同 | ありません。 |
| 委員長 | (九変化扁額について) では、続いて九変化扁額について意見ををお願いします。 |
| 委員 | 9行目の「朱鐘馗」の「鐘」は「鍾」が正しいので修正してください。 |
| 委員 | 員数が「1枚」となっていますが、こちらも単位は「1面」が正しいので修正してください。また、5行目の「後世に記述されたもの・・・」は「後世に記された」の方がよいと思います。 |
| 委員 | 4行目に「小高亀吉が願主となり高倉寺に奉納したことが記されているが・・・」とありますが、他の人が奉納したということはないですか。 |

会 議 録 (6)

| 発言者 | 発言内容 |
|------|---|
| | <p>確証がないのであれば「小高亀吉が願主となり高倉寺に奉納したとされている・・・」がいいのではないのでしょうか。また、誤って年号を書くこともあるので、「後世に記述された」とは言い切れないと思います。9行目の「まとまって」は削除して、「座頭」には、読み仮名をふったほうが読みやすいです。</p> |
| 委員長 | <p>年号が間違っているようですが、それがいつ記されたのかははっきり分かりません。</p> |
| 事務局 | <p>では、「後世に記述・・・」は削除し、「裏書には・・・と記されているが、年号と干支の間に誤りがあります」に訂正します。</p> |
| 副委員長 | <p>「誤りがある」というのは入れる必要があるのでしょうか。年号に誤りがあるのか、干支に誤りがあるのか分からないので、あえて誤りについてふれなくてもいいのではないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>2段落目は、奉納者が誰なのか分かればよいので、「誤っている」の文章は削除して「記されている」とします。</p> |
| 委員 | <p>小高亀吉は入間市に縁のある人なのでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>願主と書いてあるので、小高亀吉は入間市に縁がある人だと思います。高倉には西澤喜太郎という親分が当時いて、この人が奉納したとも言われています。</p> |
| 委員 | <p>歴史的事実とは異なるけれど、伝承的事実というものも重要です。</p> |
| 事務局 | <p>では、4行目は「小高亀吉が願主とされているが、高倉では西澤喜太郎が奉納したと言い伝えも残っています」に変更します。</p> |
| 委員 | <p>14行目の中村歌右衛門は1行目と同様に中村芝翫にしたほうがよいのではないのでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>中村芝翫（のちの4代目中村歌右衛門）がよいと思います。</p> |
| 委員 | <p>最後の行の「言える」は漢字ではなく、ひらがなで「いえる」の方がよいと思います。</p> |
| 事務局 | <p>訂正します。</p> |

会議録(7)

| 発言者 | 発言内容 |
|-----|---|
| 委員 | 13行目の「天保年間以前」ですと「天保4年」も入ってしまうので表現的にうまくないと思います。 |
| 委員 | 「天保年間にさかのぼる」はどうでしょうか。 |
| 事務局 | 芝居絵看板は大きな看板で、歌舞伎の公演が終わると処分してしまうため、天保年間より前のものが残っているのは珍しいということです。九変化扁額は看板を加工して扁額にしたものになります。 |
| 委員 | 名称の「九変化」は歌舞伎の演目ですが、「九変化」のみで歌舞伎だと一般的に分かるでしょうか。 |
| 委員 | 「芝居絵九変化扁額」にしたらどうですか。 |
| 委員長 | 「歌舞伎」と入れたほうがいいのか、それとも「芝居絵」がいいのか。赤間教授のお話によると、芝居というよりは踊りが中心で、踊りが変化していくということでした。「九変化扁額」のみだと、説明がないと分かりづらいと思います。 |
| 事務局 | 絵看板として作られたものなので「歌舞伎」ということにこだわらず、「芝居絵九変化扁額」でもよいかと思います。 |
| 委員長 | 一般の人が理解しやすい名称がよいと思うので、「(歌舞伎)九変化扁額」がふさわしいでしょう。 |
| 一同 | 良いと思います。 |
| 委員長 | 最後の行の「原物資料」は分かりづらい表現なので、変えたほうがよいと思います。 |
| 事務局 | 「原物資料」を削除して、「事蹟を伝えるものであり・・・」に変更します。 |
| 委員 | 8行目の5代目の清満は生没年を入れたほうが時代を理解しやすいと思います。 |
| 事務局 | 年号を入れて、「清満(2代目。天明7年～明治元年)」とします。扁額の材質は何でしょうか。 |
| 委員 | 芝居絵の材質はスギとヒノキで、その上に和紙が貼ってあります。描かれた人物1人1人に紋が描かれていて素晴らしいです。 |

会 議 録 (8)

| 発言者 | 発言内容 |
|--|---|
| 事務局 | 縁取りなどもされていて浮世絵では見られない手法が見受けられます。 |
| 委員長 | ほかに意見はありますか。 |
| 一同 | ありません。 |
| 事務局 | <p>それでは、本日の意見をもとに次回の審議委員会の前に理由書を作成して再度答申案として提示させていただきます。</p> <p>5 その他 (豊岡教会の保存について) 事務局で6月に栗原牧師のもとを訪れ、保護審議委員会としては保存してほしい旨を伝えました。歴史的な建物ですが保存していく場合、曳屋をした上で耐震補強をしなくてはならず、教会にとっては多額の費用負担となります。しかし現在、信者の数が100人ほどと教会堂の広さに比べて少ないため、信者の数に見合った教会堂に建てなおすという話もでており、信者の間で協議中です。なお保存する場合、曳屋をする際の費用の助成はありますが、耐震補強などの費用の助成はありません。</p> <p>(春日神社の本殿について) 田代委員より概要説明 最近確認した棟札によると建造は江戸時代中期にさかのぼるもので貴重とのこと。指定文化財の候補の1つとして挙げたいため、後日「市内文化財調査票」を提出します。</p> <p>次回の会議は2月頃に開催予定</p> |
| <p>事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>議 長 の 署 名 _____</p> <p>議長が指名した者の署名 _____</p> | |